若手・女性技術者育成のための研修

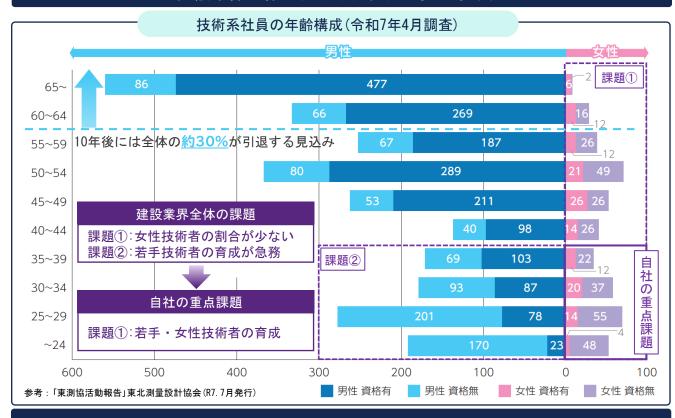


名取川熊野堂地区堤防他測量業務 (仙台河川国道事務所)

近年わが国では激甚化する災害への対応や、地域インフラの継続的な維持管理が求められる 建設業において、若年就業者の減少が顕著にみられ、担い手確保は重要な課題となっており ます。こうした情勢を踏まえ、弊社では建設業界の中長期的な発展の一助となるべく、若 手・女性技術者の育成及び確保に貢献するため、社内研修の実施や資格取得支援制度の制定 を行うなど、社内制度の充実を図っております。



建設業界全体における次世代の担い手不足



課題解決に向けた自社の取組み: 若手・女性技術者育成計画

STEP 1 STEP 2 STEP 3 STEP 4 社内研修• 測量士補 担当技術者とし 測量士 資格取得支援制度 資格取得 実務経験 資格取得

STEP 1

- 測量技術の基礎的な知識、測量機器の使用方法等を学ぶために社内研修会を実施
- ・資格取得希望者に対し、有資格者によるマンツーマン指導による勉強会を実施

STEP 2

・測量業務に従事するための必須資格である測量士補資格取得(R7年8月取得済)

STEP 3

- ・測量士指導の下、担当技術者として測量業務に従事する
- ・実際の現場での経験を通じて、技術やスキルを習得する

STEP 4

・主任技術者として測量業務に従事するための必須資格である測量士資格取得

担当技術者としての実務経験

令和7年8月に測量士補となった若手・女性技術者を対象に担当技術者としての実務経験を積むため、名 取川堤防(R10.2K~R10.8K)において、基準点測量及び水準測量を実施いたしました。

熟練の測量士から測量機器の操作方法や現地状況を踏まえた実施手順を教わり、実際に作業を行いまし た。計測結果は後続作業の基幹となるため、ミスがないように時間をかけて一つ一つ丁寧に観測を行い ました。







主な研修内容

- 堤防上における水準測量の留意点
- 往復観測における誤差の発生要因

標尺を支え棒を用いて固定させること

新人研修状況

②実施

資格を活かした業務に携わることができ、 実践的な学びを得ることが出来ました。 次回は電子レベルの操作にチャレンジして

工 種 作業状況 撮影日 令和7年9月8日 3級水準測量

測量士補となったばかりの担当技術者に現場状況において変化する手法や技術を継承しつつ、測量成 果の品質を落とすことがないよう照査体制・バックアップ体制を強化し作業を行いました。

今後も様々な経験を重ね、技術者としての成長を促し、建設業界の担い手不足解消の一助となるよう 社を挙げて取り組んでまいります。